

学校関係者評価委員会報告書

令和6年
秋田県立衛生看護学院

令和5年度自己点検・自己評価結果をもとに、次のとおり学校関係者評価を実施しましたので報告します。

<学校関係者評価委員会の開催>

日時：令和6年8月28日（水）13:30～15:00

場所：秋田県立衛生看護学院 会議室

出席者：学校関係者評価委員（6名）

本学院の実習施設職員	1名
学院卒業生	1名
看護教育に関し知見を有する者	1名
在校生の主な出身高校教員	1名
地域代表	1名
学院長	
事務局 本学院自己点検自己評価委員	7名

自己点検・自己評価項目ごとの学校関係者評価委員からの意見・助言

I 教育課程・教育活動 その1、その2	・教員の研究活動について、例年課題となっている。例えば教員の学習課題としてあげ、個人の目標を全体で支える仕組みにしてはどうか。 ・学生支援とともに教員への支援も必要なのではないか。 ・評価項目で昨年度より評価の高い項目について、学院としてどのように対応、取り組みをしたのか分析してはどうか。
II 学校運営	・予算については現場と事務で工夫して行ってほしい。
III 学生支援	・健診時の対応など、検討してほしい。
IV 教育環境	・意見、助言等はなし
V 学生の受入募集	・学生募集活動については十分に取り組んでいる。学院の活動だけではなく、県として学校をどう支えるか検討してほしい。
VI 学修成果	・進学・退学・原級留置者の増減についてわからないという回答があり、教員間で情報共有してもらいたい。
VII 社会貢献	・意見、助言等はなし

<まとめ>

今回、学校関係者評価委員の皆様からは、学院の運営について大きな教育的課題の御指摘はありませんでしたが、自己点検自己評価アンケートの内容・実施方法について検討し、学校運営に生かしていきたいと考えております。

また、学校関係者評価委員の皆様からいただいた御意見・御助言を真摯に受け止め、課題等を明確にし、今後も質の高い教育活動のために教職員が連携し、取り組んでいきたいと思っております。

御協力ありがとうございました。